

令和7年度 近畿情報高等専修学校 学校評価協議会

学校法人 東洋学園
近畿情報高等専修学校

報 告 書

学校法人東洋学園 近畿情報高等専修学校において、下記日時に「学校評価協議会」を開催いたしました。協議会では、意見交流を行い以下の意見と評価がありましたことを報告いたします。今後は、このご意見を受け止め、より良い学校運営と教育活動になりますよう改善に努めてまいります。

- 目 的
 - ・学校教育自己診断アンケート調査結果の客観性、透明性を図る。
 - ・学校家庭地域が共通理解を持ちその連携協力により学校運営の改善にあたる。
- 日 時 令和7年10月10日（金） 18:00～19:00
- 場 所 近畿情報高等専修学校 図書室

学校評価協議会委員名簿（順不同）

職 名	所 属
代表取締役社長	株式会社 三共プラス
学校長	枚方市立渚西中学校
部 長	奈良東病院グループ 教育・DX推進部
課 長	学校法人大阪国際学園本部事務局入試広報部
課 長	株式会社 JTB 大阪教育事業部 営業4課
会 長	近畿情報高等専修学校 同窓会

学校評価協議会会議報告

1 開 会 令和7年10月10日（金） 18時に開会しました。

2 校長挨拶

開会の挨拶を本校校長 小寺 克一が行いました。

3 学校評価協議会の役割と運営について 教頭 山田より

学校評価協議会の役割と運営についての説明を行いました。

4 学校関係者及び学校評価協議委員の紹介 教頭 山田より

本校関係者6名及び学校評価協議委員の紹介を行いました。

5 学校評価協議会

議案1 本年度の取り組みについて 教頭 西垣より

※オーストラリア海外研修動画視聴

生徒の学力向上に向けて、土曜講座の充実。テキストに「マナトレ」を活用。

小論文講座の開講7年目。2年・3年の生徒が受講。

教員の育成に向けて、授業力向上委員会の活性化、新任・若手教員研修の定例化と人材育成研修の充実。農業実習体験実施。心の豊かさを育む取り組み。クラブ活動の充実。生徒の喜ぶ行事の実現。（大阪万博へ全校生徒が参加した。）

（修学旅行では、北海道2泊・TDR1泊の3泊4日で実施した。）

議案2 生徒の状況について 各部長より

教務部長 鈴木、生徒指導部長 川田、進路指導部長代理 鈴木が令和6年度の各報告を行いました。

議案3 令和6年度学校教育自己診断アンケート調査結果について

【意見交流】

〔生徒アンケート結果について〕

- ・ 学生の満足度や授業への意欲が高く明るい雰囲気を感じられる。「進路指導」「文化祭・クラブ活動」「先生との信頼関係」に関する評価が高く教育の成果がでている。
- ・ NO.14 精神面では、良い状態で学園生活が送れているのではないかと思います。
- ・ 修学旅行に関して好評価が90%程あることは協力をしている弊社としては大変うれしく思われる。また、更に楽しんでいただけるよう今後の取り組みに期待します。
- ・ 概ね好評価であるのは、先生方の日頃の努力が伺える。昨年より1年生のCが高くなっている項目があるのが気になる。
- ・ 授業改善・進路指導に力を入れておられるだけでなく成果も出て来ていることが分かります。授業がわかりやすく楽しい。2年前より10ポイント高い。
- ・ 生徒会、クラブ活動への積極的な取り組みが増加しているように感じられます。1年生の時には、やや否定的な評価も2年・3年と向上がみられ、傾向がかわってきたのでしょうか？嬉しい結果です。また、修学旅行も依然と高評価なのは嬉しいですね。

【教職員アンケート結果について】

- ・教職員間の協力体制や授業改善への意識が高く前向き、ICT 教育や安全管理への取り組みが定着している。
- ・教育活動にかかる肯定的な回答が多く先生方の意識の高さを感じました。
- ・ほとんどの項目で昨年より評価が高くなっているので様々な工夫をされてきたのが伺えます。項目 48 の CD の合計が昨年より高くなっている点が気になりました。
- ・生徒の進路選択についての情報提供に大きな手ごたえを感じられておられるのは頼もしい限りです (25)。施設・設備の日常的な点検・管理 (46) や、経験の少ない教職員への育成 (48) には、やや改善の必要を感じる。

【保護者アンケート結果について】

- ・保護者の学校への信頼が高いという回答が「安心して子供を任せられる」という意見が印象的。
- ・気軽に相談できる環境が 90%以上あることが保護者・生徒（子供）を安心して預けることができている根拠になっている。
- ・項目 26 のネガティブ意見が少し多い。先生の努力が保護者に伝わり切っていないのが少し残念。
- ・保護者も概ね好評価なのは、生徒のみではなく保護者とのコミュニケーションも大事にされていることが伺えます。2 年生の C が少しだけ高いのは気になりました。
- ・クラブ活動は活発でないと感じられておられる保護者の方も多いように感じますが生徒の評価とは少々差があるようです (17)。青少年の自殺が増えているように聞いています。生命を大切にするという当たり前の教育をもっと強化して貫きたいです (18)。
- ・資格、検定の取得も含め、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい情報提供に努められていることもかなり感じました。教職員の意識の高さが保護者アンケートにおける進路項目においても大変高いものになっているように感じました。

【意見交流総括】

概ね肯定的な評価を得られている。しかし、項目によっては、より一層の取り組みを考えていく必要がある。地域との連携がしっかりと取れているのではないかと印象がある。一方で、地域福祉に関して、学校としてどのように取り組んでいくのが今後の課題だと思う。生徒が明るく挨拶ができ、礼儀正しく落ち着いているのは、教員の生徒指導を丁寧に行っている結果でもある。また、行事の充実・生徒の学力向上にも力を入れ成長や協働性につなげていく。

6 校長閉会の挨拶

高等専修学校は、技術を身に着ける学校であり基本的には就職させる学校と考えられていますが、本校は、就職も進学もできる学校として取り組んでいます。

英語は自信が大事だと考え、異文化理解から始めさせようと思い海外研修を立案した。異文化を通じて海外に行くことによって自信へとつながってほしい。

不登校生徒が登校できるようになるには、楽しく過ごさせることが必要だ。人生を楽しむ。無理をしなくてよい。体験させることが大事。経験をさせながら自分自身を磨き、自信を付けることができる。教師と生徒との関係を築き楽しみ何事にも最後までやり遂げ色々なことに興味を持ち実践することが大事です。このような教育活動を実践していくためにも指導力向上に努め本日頂いたご意見を受け止め、本校の努力目標として取り組んでまいります。

本日は誠にありがとうございました。